

経済学研究科 アジア地域経済専攻 博士前期課程

【教育研究上の目的】

アジア地域経済専攻は、わが国と地域社会発展への貢献をはかるため、国内はもとよりアジアを中心に世界各国の大学・研究機関と研究交流を深めて優位を確保し、グローバル化時代にふさわしい国際競争力を備えた影響力ある高等教育機関として、国際化・複雑化が進む現代産業社会システム解明の総合的学問・研究体系を活用し、専門的視点をもって国内と国際社会で活躍できる分析力と判断力に富む専門職業人・研究者の育成を目的とする。

【教育目標】

アジア経済を理解するためには、アジアを取り巻く国際情勢を知っておく必要があります。また、国内の社会経済や、解析手段となる経済理論も知っておく必要があります。こうした幅広い視点に立ったアジア地域経済研究をおこなうことによって、専門的視点をもって国内と国際社会で活躍できる分析力と判断力を兼ね備えた人材を育成することを目標にしています。

【ディプロマ・ポリシー】

経済学研究科、アジア地域経済専攻博士前期課程では、カリキュラムに則って所定の単位を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査を受け、それに合格した者に修士（経済学）の学位を授与します。

1. アジア地域経済を取り巻く問題について、多角的な視点で論理的に考察をおこなうことができる。
2. 国内と国際社会で活躍できる分析力と判断力を身につけている。
3. 国内の社会経済や、解析手段となる経済理論についての高度な学識を身につけている。
4. 専門分野において明確な研究テーマについて、先行研究を詳細に考察し、資料・データを適正に分析して独創的な研究論文を作成することができる。

【カリキュラム・ポリシー】

経済学研究科博士前期課程では、教育理念に基づき、カリキュラムを編成します。アジア地域経済専攻では、アジア地域経済、日本経済、関西経済の関係を重視しつつ、アジア地域経済、国際経済、企業戦略および経済理論についての高度な学識を修得することによって、専門的視点をもって国内と国際社会で活躍できる高度な分析力と判断力を兼ね備えた人材を育成するという教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施します。

1. アジア地域経済、国際経済、企業戦略および経済理論についての高度な学識を身につけることができ、多彩な視点から創造的な研究ができるよう体系的な科目を提供する。
2. 1年次に演習Ⅰ、2年次に演習Ⅱを設定し、各専門分野において明確な研究テーマについて、先行研究を詳細に考察し、資料・データを適正に分析して独創的な研究論文を作成することができるよう、指導教員が指導をおこなう。
3. 修士論文の作成にあたっては、2年次に中間報告会にて発表をおこない、指導教員とともに様々な分野の教員からも指導がおこなわれる。
4. 完成論文の発表をおこなう論文報告会が実施される。

【アドミッション・ポリシー】

急速な構造の変化を起こす現代社会において、国際的観点、アジア地域の観点、日本的観点、関西的観点といった、多角的な観点をもって経済を分析し、問題解決に取り組もうとする意欲ある学生に広く門戸を開いています。大学院生が、アジア地域経済、国際経済、企業戦略および経済理論についての高度な学識を修得し、幅広い視点に立ったアジア地域経済研究をおこなうことによって、専門的視点をもって国内と国際社会で活躍できる高度な分析力と判断力を身につけることができることを目指します。上記の点を踏まえて、本研究科博士前期課程では以下のような方々の入学を希望します。

1. アジア地域経済、国際経済、企業戦略および経済理論についてより深く学びたい方。
2. 大学院で、高度な分析力と判断力を身につけて、国内と国際社会で活躍したい方、および専門的

職業でより一層活躍したい方。

3. 学部教育からさらに加えて、経済学を深く学びたい方。

4. アジア地域経済を取り巻く問題について、多角的な視点で論理的に考察することができる力を身につけたい方。